

# 国際比較研究の資料としての国連人口推計

鈴木 透 (国立社会保障・人口問題研究所)

## 1. 緒言

国連人口部 (United Nations Population Division; UNPD) はほぼ 2 年毎に世界人口推計 (World Population Prospects; WPP) を更新しており、現時点で最新版は 2019 Revision である。WPP には世界 235 カ国・地域の直近までの推計値 (estimates) と将来推計値 (projections) が掲載されており、人口に関する国際比較の最も重要な情報源となっている。それだけに、WPP に含まれる数値の算定方法や修正の幅、あるいは各国の推計・将来推計と比較した場合の特徴等について知っておくことは重要だろう。本稿では東アジアおよび ASEAN 諸国について、2000 年版以降の WPP の推計値・将来推計値を検討する。

## 2. 推計値

### 2-1. 日本

国連人口部は 2008 年版と 2010 年版で 1950 年以後の日本の総人口を微小に下方修正した。これは 2005 年国勢調査人口が予想より少なく、2004 年現在推計人口を下回り、人口減少が始まったと考えられたためだろう。特に 2010 年版では 2000 年以前の人口をすべて修正しており、2000 年以前の国勢調査はすべて過大評価だったと考えたらしい。

表1. 国連人口推計における総人口の変化(%): 日本

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.00	-0.96	-0.75	0.00	0.00	0.73	0.00
1955年人口	0.00	0.00	0.00	-0.86	-0.74	0.00	0.00	0.71	0.00
1960年人口	0.00	0.00	0.00	-0.96	-0.74	0.00	0.00	<b>1.27</b>	0.00
1965年人口	0.00	0.00	0.00	-0.84	-0.72	0.00	0.00	<b>1.14</b>	0.00
1970年人口	0.00	0.00	0.00	0.11	-0.71	0.00	0.00	<b>1.17</b>	0.00
1975年人口	0.00	0.00	0.00	0.09	-0.73	0.00	0.00	<b>1.46</b>	-0.01
1980年人口	0.00	0.00	0.00	-0.01	-0.75	0.00	0.00	<b>1.65</b>	-0.01
1985年人口	0.00	0.00	0.00	0.06	-0.76	0.00	0.00	<b>1.59</b>	-0.01
1990年人口	0.00	0.00	0.00	-0.28	-0.76	0.00	0.00	<b>1.85</b>	-0.01
1995年人口	0.00	0.00	0.00	-0.02	-0.76	0.00	0.00	<b>1.52</b>	-0.01
2000年人口			0.00	-0.26	-0.78	0.00	0.00	<b>1.45</b>	-0.01
2005年人口					-0.83	0.46	0.00	<b>1.07</b>	-0.01
2010年人口					-0.36	0.65	-0.03	0.97	-0.01
2015年人口								<b>1.11</b>	0.01

2012年版では2005～10年の人口のみ上方修正された。2017年版では、1950年以後の人口がすべて上方修正された。おそらく2010～15年の国勢調査人口の推移を見て、2005年国勢調査人口に依拠して下方修正したことが誤りだったと判断したためではないかと思われる。この結果、1950年の人口（国勢調査では8320万人）は、2000～2008年版では8362.5万人と0.51%過大だったのが、2010～15年版では8219.9万人で1.2%過小となり、2017年版では8280.2万人と0.5%過小になった。なお国勢調査が10月1日現在人口なのに対し、WPPは年央人口（7月1日現在）なので、人口増加中であれば国勢調査より少なくなければならない。その意味で2017年版以降の1950～55年の推計人口が国勢調査よりわずかに少ないのは自然だが、1960～2000年の推計人口は国勢調査より多く、国勢調査を信用するのであれば過大評価ということになる。

総人口以外の変化は、付表にまとめた。日本に関して年齢従属指数＝（0～14歳＋65歳以上）／15～64歳人口が1%ポイント以上修正されたことはなく、人口の修正はおおむね年齢中立的に行われたと考えられる。他の国では合計出生率が0.1以上修正されることはよくあるが、日本に対しては1950～55年の合計出生率が2008年版で2.747から2.999へ上方修正された例が唯一である。その後2017年版では2.96へ微小な下方修正が行われた。ちなみに1950～54年の合計出生率の公表値の算術平均は3.012で、国連はわずかに低めの値を採用していることになる。平均寿命（男女込み）の長期推計値は2012年版以降掲載されているが、日本について平均寿命が1年以上修正された例はない。

## 2-2. 韓国

表2. 国連人口推計における総人口の変化(%): 韓国

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	<b>-7.36</b>	0.00	0.00	<b>1.87</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年人口	0.00	0.00	0.00	<b>-1.19</b>	0.00	0.00	0.00	<b>1.71</b>	-0.08
1960年人口	0.00	0.00	0.00	0.26	0.02	0.00	0.00	<b>1.06</b>	-0.04
1965年人口	0.00	0.00	0.00	-0.49	0.02	-0.01	0.00	<b>1.81</b>	-0.04
1970年人口	0.00	0.00	0.00	<b>-1.51</b>	0.01	-0.02	0.00	<b>2.46</b>	-0.04
1975年人口	0.00	0.00	0.00	<b>-1.59</b>	0.00	-0.02	0.00	<b>1.94</b>	-0.02
1980年人口	0.00	0.00	0.00	<b>-1.74</b>	0.00	-0.02	0.00	<b>1.60</b>	-0.01
1985年人口	0.00	0.00	0.00	-0.74	0.01	-0.02	0.00	0.76	-0.01
1990年人口	0.00	0.00	0.00	0.26	-0.01	-0.02	0.00	-0.11	-0.01
1995年人口	0.20	-0.08	0.00	-0.79	0.02	-0.02	0.00	<b>1.45</b>	-0.01
2000年人口			0.00	-0.75	-0.95	-0.02	0.50	<b>2.55</b>	-0.01
2005年人口					<b>-1.10</b>	-0.02	<b>1.22</b>	<b>2.32</b>	-0.02
2010年人口					-0.65	0.56	<b>1.31</b>	0.94	-0.01
2015年人口								0.60	0.45

韓国の1950年人口の推計値は2002年版で2035.7万人から1885.9万人へ大幅に下方修正され、後に1921.1万人まで戻された。ちなみに1949年5月に実施された第1回総人口

調査による人口は2018.9万人で、国連は何らかの理由でこれが過大だったと判断したことになる。いずれにせよ1950年6月25日に朝鮮戦争が勃発しており、戦時中の推計人口に正確さを求めることはできない。

2008年版では1955年以降は総人口が下方修正された年が多い。1950年の総人口は上方修正、1955年の総人口は下方修正されたが、年齢従属指数は両年とも上方修正されている。1960年人口の修正は微小だが、年齢従属指数は82.7%から80.5%へ引き下げられた。合計出生率の推計値は、1950～55年期間が5.4から5.05へ引き下げられた以外はほとんど変わっていない。

2017年版では1955年以後の総人口が上方修正されたが、これは2010年センサス人口が予想より多く、2005年以前の推計値が過小評価だったという判断を下したことによるのだろう。2017年版では、比較的最近である2000～05年の人口も2%以上と大幅に引き上げられた。2005年の総人口はセンサスで4727.9万人、最新の人口推計で4818.5万人とされる(통계청 2019)。これに対し国連の推計値は2019年版で4870.9万人で、統計庁の推計値より1%ほど多くなっている。2017年版では1955～65年の年齢従属指数が1%ポイント以上引き上げられ、特に1960年分は2015年版の80.7%から2017年版では87.3%と大幅に修正された。これは人口の上方修正が年少人口に偏っていたことを示唆する。2017年版における合計出生率や平均寿命の修正は、いずれも微小な修正にとどまった。

### 2-3 台湾

WPPに台湾の人口が掲載されるようになったのは、2010年版からである。当初は“other non-specified area”と表記されていたが、近年は“China, Taiwan Province of China”という表記になっている。2017年版で1955-65年の総人口が、2019年版で1955-80年の総人口が1%以上上方修正されたが、いかなる新資料によるかはわからない。1965年人口について言うと、台湾当局による公表値1262.8万人に対し、2015年版までは1245.4万人で1.38%過小だったが、2019年版では1290.1万人と2.16%過大になっている。2019年版は公表値より過大な年が多いが、2000年人口は公表値2227.7万人に対し2196.7万人と1.39%過小である。理由は分からないが、国連人口部は台湾の人口統計をあまり信用していないらしい。

表3. 国連人口推計における総人口の変化(%):台湾

	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.81	-0.28
1955年人口	0.00	0.00	<b>1.92</b>	<b>1.86</b>
1960年人口	0.00	0.00	<b>1.99</b>	<b>1.63</b>
1965年人口	0.00	0.00	<b>1.57</b>	<b>1.99</b>
1970年人口	0.00	0.00	0.92	<b>1.57</b>
1975年人口	0.00	0.00	0.95	<b>1.43</b>
1980年人口	0.00	0.00	-0.52	<b>1.06</b>
1985年人口	0.00	0.00	-0.50	0.91
1990年人口	0.00	0.00	0.39	0.82
1995年人口	0.00	0.00	0.34	0.60
2000年人口	0.00	0.00	-0.43	0.58
2005年人口	0.00	-0.10	-0.45	0.45
2010年人口	-0.30	0.24	-0.42	0.37
2015年人口			0.45	0.31

2017年版では1955～65年の年齢従属指数が1%以上上方修正されており、主に年少人

口が上方修正されたい。一方で1970～75年の年齢従属指数は1%以上下方修正されており、修正が生産年齢人口に及んだらしい。合計出生率が大きく修正されたのは2017年版のみで、2019年版は2017年版とほとんど変わらない。1950～55年の合計出生率は、公表値の算術平均が6.516なのに対し、2015年版までは5.903と著しく過小だったが、2017年版以降は6.720とむしろ過大になった。一方、2005～10年の合計出生率は、公表値の算術平均1.082に対し、2015年版までは1.261と過大だったのが、2017年版以降は1.051と公表値より低水準まで引き下げられた。このように2017年版では、公表値との大きな乖離は解消された。台湾の平均寿命については、2010年版以後修正はごく小さなものにとどまっている。

## 2-4. 中国

中国の総人口は頻繁に修正されているが、2015年版まではおおむね下方修正が多く、2017年版以降は急激に上方修正された。このため、たとえば1950年人口は、公表値5.59億人に対し、5.55億人(2000年版)→5.44億人(2015年版)→5.54億人(2019年版)と、一旦下がって戻るといった動きを示している。2000年人口は、公表値12.67億人に対し、12.75億人(2000年版)→12.70億人(2015年版)→12.91億人(2019年版)と、公表値を上回っている。特に2015年人口は、公表値13.75億人に対し、2019年版は14.07億人と2.34%過大である。これがいかなる根拠によるのか、よくわからない。

表4. 国連人口推計における総人口の変化(%): 中国

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.00	-1.77	1.07	-1.27	0.06	1.89	0.00
1955年人口	0.00	0.00	0.00	-1.77	1.69	-1.21	-0.40	2.05	0.23
1960年人口	0.00	0.00	0.00	-1.76	1.91	-1.15	-0.96	2.05	0.41
1965年人口	0.00	0.00	0.00	-1.77	-0.83	0.18	-0.70	2.26	0.23
1970年人口	0.00	0.00	0.00	-1.77	-0.16	-0.03	-0.72	2.01	0.34
1975年人口	0.00	0.00	0.00	-1.79	0.43	-0.16	-0.87	1.70	0.58
1980年人口	0.00	0.00	0.00	-1.80	0.23	0.09	-0.63	1.64	0.63
1985年人口	0.00	0.00	-0.31	-1.28	0.32	0.54	-0.91	1.73	0.44
1990年人口	0.00	0.00	-0.54	-0.61	0.27	1.77	-0.93	1.55	0.38
1995年人口	0.01	-0.01	-0.46	-0.23	0.25	1.94	-0.78	0.99	0.08
2000年人口			-0.32	-0.24	0.17	0.89	-0.82	1.04	0.57
2005年人口					-0.36	0.81	-0.95	1.23	0.69
2010年人口					-0.95	1.38	-1.39	1.40	0.67
2015年人口								1.52	0.70

2008年版に於ける1985年までの人口の下方修正は年齢従属指数の変化を伴わず、ほとんど年齢中立的に行われたらしい。2008年版では総人口の修正幅が小さかった1990年以降について、年齢従属指数は1%ポイント以上上方修正されている。2010年版でも、総人口の修正幅が小さかった1965～85年の年齢従属指数が1%ポイント以上修正された。2012年

版・2017年版でも、総人口が大きく修正された箇所はおおむね年齢中立的な修正と思われる。

表5. 中国の合計出生率の公表値と国連推計値

年次	公表値	国連推計値										
		期間	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1980	2.2	1980-85	2.55	2.55	2.55	2.55	2.61	2.61	2.69	2.52	2.55	2.52
1985	2.2	1985-90	2.46	2.46	2.46	2.46	2.63	2.63	2.87	2.75	2.73	2.73
1990	2.425	1990-95	1.92	1.92	1.92	1.92	2.01	2.01	2.05	2.00	1.90	1.83
1995	1.727	1995-00	1.80	1.80	1.78	1.78	1.80	1.80	1.56	1.48	1.51	1.62
2000	1.22	2000-05			1.70	1.70	1.77	1.70	1.55	1.50	1.55	1.61
2005	1.338	2005-10					1.77	1.64	1.63	1.53	1.58	1.62
2010	1.188	2010-15								1.55	1.60	1.64
2015	1.047											

公表値: 1980,85年は姚新武・伊華(1994)。1990,95年は田雪原(2007) 2000年はGuo&Gu(2014), 2010,15年はGuo, et al.(2019)

中国の出生率に関する統計は、一人っ子政策が導入された1980年代から信頼できなくなった(Rindfuss&Cho 2015)。若林(1996)に引用された姚新武・伊華(1994)によると、1980年と1985年の合計出生率はともに2.2だった。田雪原(2007)は1990~2000年の出生率に関し届出漏れの調整を試みているが、表5には調整前の合計出生率を示した。ただし調整済みの出生率は1990年が2.456、1995年が1.720で、調整前とほとんど変わらない。2000年以降は人口普查(センサス)および1%標本調査(ミニセンサス)による合計出生率だが、郭志剛らはこれらの水準で正しいと主張している。

国連人口部は1980年代の公表値(2.2)は低すぎると見ており、合計出生率は2.4以上だったとしている。しかし2006年版までは1980年代前半に出生率低下があったとしていたが、2008年版以降では一人っ子政策の導入にもかかわらず出生率は反騰したと仮定している。1990年の公表値(2.425)は高すぎると考えられ、実際には2.0前後だったとしてきた。しかし2017年版以後は推定値が急激に引き下げられ、2019年版では1.83となっている。2000年以後の人口普查等による合計出生率は低すぎると考えられているが、推計値はやはり頻繁に修正されている。2015年版までは推計値が引き下げられてきたが、2017年版以後は一転して引き上げられる傾向にある。このため、2000~05年の合計出生率(公表値1.22~1.34)は、2006年版の1.70から2015年版の1.50まで引き下げられ、2019年版では再び1.61まで引き上げられた。2010年版では出生率低下が続いているという見方だったが、2012年版以降では2000年前後を底に反転したと仮定されている。いずれにせよ、中国のような影響力が大きな国の出生率水準が不明なのは、困惑させられることである。

## 2-5. シンガポール

シンガポールの総人口は最新年次を除いてほとんど修正がなかったが、2019年版では

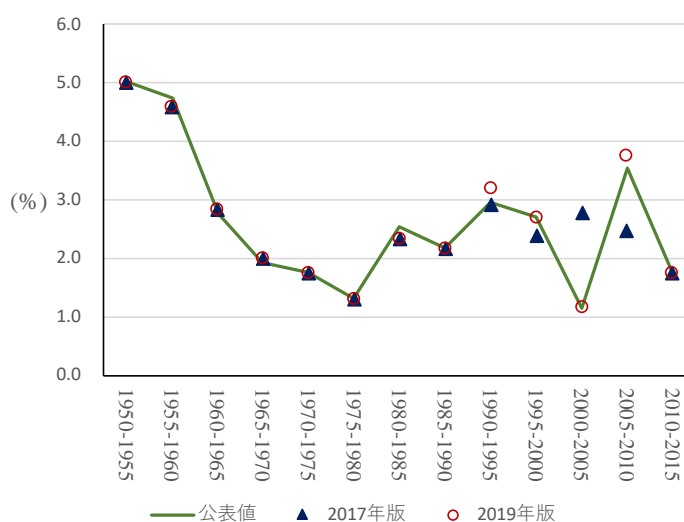
2005年の人口が-5.02%と大幅に下方修正される一方、1995～2000年および2010～15年の人口が上方修正された。2010年版ではシンガポール統計局による公表値の426.6万人が採用されていたが、2012年版で449.6万人と大幅に上方修正され、2019年版では426.7万人に戻ったという経緯になる。おそらく2000～05年の人口増加率の落ち込みが信じられず、2005年人口を上方修正することで増加率の変動を平準化したが、2019年版にいたってようやく公表値を信じることにしたということだろう。

表6. 国連人口推計における総人口の変化(%):シンガポール

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00	0.00	-0.05	0.00
1960年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00	0.00	-0.04	0.00
1965年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.04	0.00	0.00	-0.09	0.00
1970年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00	0.00	-0.09	0.00
1975年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	-0.12	0.00
1980年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.12	0.00
1985年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.11	0.00
1990年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	-0.01	0.00	-0.11	0.00
1995年人口	0.05	0.01	0.00	0.06	0.04	0.03	0.00	-0.11	<b>1.36</b>
2000年人口			0.00	0.02	<b>-2.46</b>	-0.03	0.00	-0.11	<b>2.94</b>
2005年人口					-0.02	<b>5.38</b>	0.00	-0.10	<b>-5.02</b>
2010年人口					<b>5.16</b>	-0.15	0.00	-0.09	<b>1.12</b>
2015年人口								<b>-1.22</b>	<b>1.03</b>

2019年版の修正では、1995年以降の従属人口指数はいずれも下降しており、生産年齢人口を中心に上方修正されたと考えられる。下方修正された2005年も、前後の年ほどではないが従属人口指数は上昇した。こちらは従属人口を中心に下方修正がなされたと考えられる。合計出生率については、2010年版で1950～75年の推計値が0.185～0.395上方修正された以外は小幅な修正にとどまる。平均寿命(男女込み)が1年以上修正されたことはない。

図1. シンガポールの人口増加率



## 2-6. ベトナム

ベトナムの総人口は 2010 年版と 2012 年版で大きく修正された。近年に対する修正は 2009 年センサス結果を受けてのものと思われるが、南北分裂時代 (1949～76 年) に対する修正は、いかなる資料によるのかわからない。特に 1950 年の総人口は、2008 年版では 2736.7 万人と推計されていたが、2010 年版で 2826.4 万人まで引き上げられた後、2012 年版では 2494.9 万人まで一気に引き下げられた。一方で 1980 年以後の人口は上方修正されており、従来考えられていたより大きな人口増加があったことになる。2010 年版で下方修正した年は従属人口指数は上がっており、上方修正した年は下がっているため、主に生産年齢人口を修正したらしい。

表7. 国連人口推計における総人口の変化(%):ベトナム

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>3.28</b>	<b>-11.73</b>	-0.56	0.00	0.00
1955年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>4.25</b>	<b>-9.57</b>	-0.65	0.00	0.00
1960年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>4.53</b>	<b>-6.43</b>	-0.73	0.00	0.00
1965年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>4.69</b>	<b>-4.31</b>	-0.80	0.00	0.00
1970年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>4.73</b>	<b>-2.55</b>	-0.86	0.00	-0.01
1975年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>4.01</b>	<b>-1.44</b>	-0.91	0.00	-0.02
1980年人口	0.00	0.00	0.00	0.59	<b>1.32</b>	<b>1.62</b>	-0.96	0.00	-0.17
1985年人口	0.00	0.09	-0.03	<b>1.14</b>	0.87	<b>2.24</b>	-0.99	0.00	-0.25
1990年人口	0.00	0.20	-0.05	0.11	<b>1.29</b>	<b>2.69</b>	<b>-1.02</b>	0.00	-0.32
1995年人口	0.00	0.44	0.23	-0.51	<b>1.44</b>	<b>2.72</b>	<b>-1.08</b>	0.00	-0.38
2000年人口			0.54	-0.55	0.12	<b>2.70</b>	-0.74	0.00	-0.47
2005年人口					<b>-1.09</b>	<b>2.15</b>	-0.88	0.12	-0.56
2010年人口					<b>-1.33</b>	<b>1.36</b>	-0.77	0.13	-0.57
2015年人口								0.13	-0.96

1970 年代までの合計出生率は、2010 年版でいったん引き上げられた後、2012 年版では引き下げられた。たとえばベトナム戦争中である 1965～70 年の合計出生率の推定値は、7.25 から 2010 年版で 7.38 まで引き上げられた後、2012 年版では 6.47 まで引き下げられた。1990 年以後の合計出生率の推定値は 2010 年版から修正されておらず、2000～05 年の 1.92 を底に反転し、2015～20 年には 2.06 まで回復したと想定されている。2012 年版では平均寿命 (男女込み) も大幅に修正されており、特に 1960～65 年の推定値は 45.4 年から 60.5 年まで 15 年以上も延長された。

## 2-7. マレーシア

マレーシアの総人口に対しては直近年次の修正が多いが、2017 年版ではある程度長期の修正が行われた。それでも修正幅は中国やベトナムに比べて小さく、2%以上の増減が行われたことはない。従属人口指数に対しても 2%ポイント以上の修正は稀だが、2012 年版では 2005～10 年の従属人口指数が 4%ポイント以上引き下げられた。同時に 2000～10 年の

合計出生率も大幅に引き下げられており、おそらく 2010 年センサスの年少人口が予想より少なかったのだろう。1990 年代までの合計出生率に対しては、2010 年版で大幅に引き下げられた後、2017 年版で若干引き上げられた。たとえば 1980～85 年の合計出生率は、それまでの 4.24 から 2010 年版で 3.73 となり、2017 年版では 3.97 まで戻された。平均寿命（男女込み）が 1 年以上修正された例はない。

表8. 国連人口推計における総人口の変化(%):マレーシア

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.22	0.01	0.00	0.34	-0.01
1960年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.01	0.00	-0.05	-0.01
1965年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.71	0.00	0.00	-0.45	0.00
1970年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.52	-0.01	0.00	-0.96	0.00
1975年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.45	-0.01	0.00	-1.21	0.00
1980年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.01	0.00	-0.26	0.00
1985年人口	0.00	0.00	0.00	0.00	0.55	0.01	0.00	-1.05	0.00
1990年人口	0.00	0.00	1.45	0.00	0.58	0.01	0.00	-0.95	-0.05
1995年人口	1.73	0.00	1.14	0.00	0.62	0.02	0.00	-1.11	-0.04
2000年人口			1.20	0.00	0.61	0.02	0.00	-1.00	0.04
2005年人口					1.82	-0.98	-0.18	-0.53	0.12
2010年人口					1.74	-0.44	-0.55	-0.03	0.34
2015年人口								1.29	-1.47

## 2-8. インドネシア

インドネシアの総人口の長期時系列データは、2008 年版から 2015 年版まで 4 回連続で大きく修正された。たとえば 1950 年人口は 2005 年版までの 7953.8 万人から、2015 年版では 6954.3 万人と 12.6% 下方修正されている。インドネシア独立後の人口センサスは 1961 年で、それ以前は 1930 年にジャワ・スマトラ島のみでオランダによるセンサスが行われただけなので、1930～60 年の人口については資料が乏しいらしい。1965 年以降の人口についても、上方・下方修正が交互に繰り返されており、国連人口部が 2000 年以前のセンサス結果を信用していないことを示唆している。2010 年センサスによる総人口は 2.38 億人だが（増原 2017）、2019 年版は約 1.8% のセンサス漏れを見込んで 2.42 億人としている。

表 9 をみると、2008 年版の修正は 1950～2000 年の総人口を一律に 3% 下方修正するという方針である。ほとんどの年齢が一律に 3% 下方修正されたらしく、従属人口指数は 2006 年版とほとんど変わっていない。2010 年版では 1965～95 年の年齢従属指数が 1% ポイント以上上昇しており、主に年少人口を増やしたらしい。2012 年版では 2000 年以前の従属人口指数はほとんど動いておらず、2008 年版と同じく年齢中立的な修正を行ったようである。



驚いたことに合計出生率は2000年版以後ほとんど変わっておらず、1985～2000年の推計値が一律に0.1人引き下げられ、2005～10年の推計値が2.19から2012年版で2.50に引き上げられた以外に0.1人以上修正された例はない。一方、平気寿命（男女込み）は頻繁に修正されている。1回の修正で最も大きく動いたのは、1950年の推計値が38.2年から2010年版で43.5年に5年以上引き上げられた例がある。近年に対する推計値も頻繁に変わっており、たとえば2005～10年のものは2008年版が70.7年、2010年版が67.9年、2012年版が69.6年、2015年版が67.7年と上下動を繰り返している。

表9. 国連人口推計における総人口の変化(%): インドネシア

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年人口	0.00	0.00	0.00	-3.00	-3.00	-3.00	-4.20	0.00	0.00
1955年人口	-0.01	0.00	0.00	-3.00	-2.33	-3.35	-2.31	0.00	-0.07
1960年人口	-0.02	0.00	0.00	-2.99	-1.19	-3.54	-1.01	0.00	-0.05
1965年人口	-0.05	-0.04	0.60	-3.00	0.16	-3.66	-0.02	0.00	-0.04
1970年人口	-0.07	-0.05	0.50	-3.00	1.23	-3.63	0.67	0.00	-0.04
1975年人口	-0.09	-0.04	0.74	-2.99	2.11	-3.65	1.17	0.00	-0.03
1980年人口	-0.14	-0.04	0.69	-3.00	2.89	-3.53	1.37	0.00	-0.03
1985年人口	-0.19	-0.04	0.70	-2.99	3.56	-3.37	1.57	0.00	-0.02
1990年人口	-0.20	-0.39	0.79	-2.99	3.92	-3.10	1.57	0.00	-0.01
1995年人口	-0.20	-0.80	0.90	-2.99	4.12	-2.65	1.47	0.00	-0.01
2000年人口			1.20	-3.03	3.95	-2.09	1.25	0.00	-0.01
2005年人口					3.69	-1.24	0.79	0.20	-0.19
2010年人口					3.16	0.34	0.39	0.38	-0.28
2015年人口								0.23	0.09

### 3. 将来推計値

情報が更新されるにつれ将来推計値が変わるのは当然で、国連推計の各年版を比較してもあまり意味がない。ここでは日本、韓国、台湾の将来推計値について、各国政府の公式推計結果との比較を試みる。

#### 3-1. 日本

合計出生率の仮定値の幅は、社人研が1.25～1.65と0.4人に抑えられているのに対し、国連推計の2019年版では全ての国について2065年の合計出生率は中位推計の上下0.5人ずつの幅が仮定されている。このため、推計結果の幅も国連推計の方が大きくなる。中位推計の仮定値は、社人研の1.44人に対し国連は1.60人と楽観的である。これは社人研に比べ、人口減少も高齢化も緩慢な結果をもたらすはずである。平均寿命も、国連は社人研以上の伸びを想定している。従って死亡率が高齢化を促進する度合いは、国連推計の方が大きいだろう。

将来推計結果を見ると、中位推計による2065年の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所（2017）の8807.7万人に対し国連は9436.6万人で、人口減少は社人研推計より緩慢になっている。高位と低位の差は、社人研の1610万人に対し2560万人とかなり幅が広い。中位推計との差は、社人研が上下10%未満なのに対し13～14%の差がある。65歳以上割合の高位推計と低位推計の差は、社人研の3.5%ポイントに対し国連は10%ポイント以上ある。中位推計による65歳以上割合は、国連と社人研であまり違いがない。これは2065年の65歳未満人口も65歳以上人口も社人研より同程度に多く推計されていることを意味する。65歳未満人口が社人研より多くなるのは、もちろん社人研より高い合計出生率が仮定されているためである。65歳以上人口も社人研より多くなるのは、男女とも低い高齢死亡率が仮定されているためと思われる。

表10. 各国公式推計と国連推計の比較: 日本(2065年)

		合計出生率	平均寿命		総人口 (千人)	(中位=100)	65歳以上(%)
			(男)	(女)			
国連(2019)	高位	2.10			107,781	(114.2)	33.5
	中位	1.60	86.6	92.8	94,366	(100.0)	38.2
	低位	1.10			82,186	(87.1)	43.9
社人研(2017)	高出生低死亡	1.65	91.4	92.5	96,571	(109.6)	36.6
	中出生中死亡	1.44	85.0	90.2	88,077	(100.0)	38.4
	低出生高死亡	1.25	83.8	86.1	80,461	(91.4)	40.1

国連の合計出生率と平均寿命は、2060～65年の仮定値。

### 3-2. 韓国

前述のように国連推計の合計出生率の仮定値は、全ての国について高位と低位で1.0人の幅がある。韓国統計庁の仮定値は1.10～1.45人で、高位推計でさえ社人研の中位推計と同程度という悲観的な仮定を置いている。統計庁が2016年12月に公表した将来人口推計（통계청 2016）では、合計出生率が2015年の1.24から2040年には1.38まで回復するという中位仮定を置いていた。ところが想定外の出生率低下で2018年の合計出生率が0.98を記録したため、統計庁は仮定値を見直した「将来人口特別推計」を公表した。このような経緯のため、中位推計では2065年まで極低出生率（Kohler, et al. 2000）が続くという悲観的な仮定になっている。一方で国連人口部は、韓国の合計出生率が2060～65年に1.52まで回復するという楽観的な仮定を置いている。女子の平均寿命の仮定値は、国連と韓国統計庁の間で一致しているが、男子については国連は統計庁より悲観的な仮定を置いている。

将来推計結果の幅は、当然国連の方が大きい。中位推計結果を比較すると、日本とは逆に総人口では差が小さく、年齢構造では差が大きくなっている。これは国連人口部の方が高齢男子の死亡率を高く設定したため、将来の65歳以上人口が統計庁推計より小さくなり、これが総人口の差を小さく、年齢構造の差を大きくしているためである。

表11. 各国公式推計と国連推計の比較: 韓国 (2065年)

		合計出生率	平均寿命		総人口 (千人)	(中位=100)	65歳以上(%)
			(男)	(女)			
国連(2019)	高位	2.02			46,470	(114.6)	36.8
	中位	1.52	85.7	91.5	40,565	(100.0)	42.1
	低位	1.02			35,190	(86.8)	48.5
통계청 (2017)	高位	1.45	89.1	92.6	46,223	(114.7)	43.4
	中位	1.27	88.3	91.5	40,293	(100.0)	46.1
	低位	1.10	87.2	90.2	34,877	(86.6)	48.9

国連の合計出生率と平均寿命は、2060～65年の仮定値。

### 3-3. 台湾

国連人口部は2060～65年の合計出生率について、台湾が韓国をわずかに上回ると仮定している。一方、國家發展委員會(2018)の中位仮定値は2065年に1.20で、韓国統計庁の仮定値(1.27)を下回る。仮定値の幅は、台湾が0.6人で韓国の0.35人より幅が大きい。国連も國家發展委員會も死亡率については種類の仮定値しか用意していない。両者を比較すると、女子に対してほぼ同じ仮定値を設定しているのに対し、男子に対しては韓国と逆に国連の方が楽観的な仮定を置いている。

これは65歳未満も65歳以上も国連推計値の方が大きいことを意味し、総人口の違いは日本と同様に大きくなる。しかし低い死亡率が仮定されたのが男子だけということもあり、年齢構造の差は日本ほどには縮まらず、国連推計では高齢化の進行が國家發展委員會推計より緩慢になる。

表12. 各国公式推計と国連推計の比較: 台湾 (2065年)

		合計出生率	平均寿命		総人口 (千人)	(中位=100)	65歳以上(%)
			(男)	(女)			
国連(2019)	高位	2.08			23,225	(114.7)	33.4
	中位	1.58	84.7	88.3	20,242	(100.0)	38.3
	低位	1.08			17,519	(86.6)	44.2
國家發展委員會 (2018)	高位	1.50			18,802	(108.4)	38.0
	中位	1.20	81.9	88.6	17,353	(100.0)	41.2
	低位	0.90			16,006	(92.2)	44.7

国連の合計出生率と平均寿命は、2060～65年の仮定値。

## 4. 結語

国連人口部は世界中の全ての国・地域の人口データを収集・分析しており、その作業量は膨大なものになるだろう。そのせいか、時に首をかしげたくなるような安易な判断ミスもみられる。日本の2005年国勢調査結果に合わせて2000年以前の人口を全て下方修正したり、シンガポールの2000～05年人口に不必要な平滑化を行ったのがその例である。し

たがって途上国などで公表値と国連推計値が違う場合でも、国連の方が信頼性が高いとは限らない。

1980年以後の中国の出生率水準に対する推計値は、絶え間なく修正が続けられており、永遠に終熄しそうにない。これは2000年以後の中国のセンサスやミニセンサスの合計出生率が信じ難いほど低いことが原因で、「これで正しい」といわれても納得できるものではない。センサスの合計出生率が低く出るメカニズムに関する研究が求められる。

途上国の過去の人口指標についてはわかっていない部分が多く、国連推計でもベトナムの平均寿命が15年以上修正されたり、インドネシアの人口が12%以上下方修正された例もある。こうしたことは今後も起こり得るため、常に最新版の推計値をチェックするか、あるいは独自の見識による推定を行う必要があるだろう。

## 引用文献

国立社会保障・人口問題研究所 (2017) 『日本の将来推計人口 平成29年推計』人口問題研究資料第336号。

増原綾子 (2017) 「インドネシア——高齢化と人の移動のダイナミズム」末廣昭・大泉啓一郎編著『東アジアの社会大変動——人口センサスが語る世界』名古屋大学出版局。

若林敬子 (1996) 『現代中国の人口問題と社会運動』新曜社。

Guo, Zhigang and Baochang Gu (2014) “China's Low Fertility: Evidence from the 2010 Census,” Isabelle Attane and Baochang Gu (eds.) *Analysing China's Population — Social Change in a New Demographic Era*, Springer, pp. 15-35.

Guo, Zhigang, Stuart Gietel-Basten and Baochang Gu (2018) “The Lowest Fertility Rates in the World? Evidence from the 2015 Chinese 1% Sample Census,” *China Population and Development Studies* 2(3):245-258.

Kohler, Hans-Peter, Francesco C. Billari and Jose Antonio Ortega, 2002 “The Emergence of Lowest-Low Fertility in Europe during the 1990s,” *Population and Development Review* 28(4): 641-681.

Rindfuss, Ronald R. and Minja Kim Choe (2015) “Diversity across Low-Fertility Countries: an Overview”, in Ronald R. Rindfuss and Minja Kim Choe (eds.) *Low and Lower Fertility: Variations across Developed Countries*, Springer, pp. 1-13.

통계청 (2016) 『장래인구추계:2015~2065년』

통계청 (2019) 『장래인구특별추계:2017~2067년』

國家發展委員會 (2018) 『中華民國人口推估 (2018 至 2065 年)』  
田雪原 (2007) 『21 世紀中国人口發展戰略研究』 社会科学文献出版社.  
姚新武・伊華 (1994) 『中国常用人口数据集』 中国人口出版社.

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント): 日本

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	-0.19	-0.01	0.00	0.00	-0.12	0.00
1955年	0.00	0.00	0.00	-0.14	-0.09	0.00	0.00	0.20	0.00
1960年	0.00	0.00	0.00	0.02	-0.19	0.02	0.00	0.00	0.00
1965年	0.00	0.00	0.00	-0.46	0.15	0.01	0.00	-0.03	0.00
1970年	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.13	0.00	0.00	-0.35	0.00
1975年	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.07	0.00	0.00	-0.24	0.00
1980年	0.00	0.00	0.00	0.07	-0.04	0.00	0.00	-0.24	0.00
1985年	0.00	0.00	0.00	0.12	-0.11	0.00	0.00	-0.15	0.00
1990年	0.00	0.00	0.00	-0.20	-0.06	0.00	0.00	0.17	0.00
1995年	0.00	0.00	0.00	-0.13	-0.02	0.00	0.00	0.22	0.00
2000年			0.00	-0.02	-0.07	0.00	0.00	-0.08	0.00
2005年					-0.10	-0.03	0.00	-0.38	0.00
2010年					0.67	0.50	-0.04	-0.93	0.00
2015年								-0.51	0.01

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人): 日本

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1950～55年	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	-0.04	0.00
1955～60年	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
1960～65年	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00
1965～70年	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
1970～75年	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1975～80年	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1980～85年	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
1985～90年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00
1990～95年	-0.01	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1995～00年	-0.02	0.00	0.00	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2000～05年			-0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2005～10年					0.06	0.02	0.00	0.00	0.00
2010～15年								0.01	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年): 日本

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1950～55年						0.00	0.00	0.63	0.00
1955～60年						0.00	0.00	0.15	0.00
1960～65年						0.00	0.00	0.19	0.00
1965～70年						0.00	0.00	0.12	0.00
1970～75年						0.00	0.00	0.14	0.00
1975～80年						0.00	0.00	0.08	0.00
1980～85年						0.00	0.00	0.06	0.00
1985～90年						0.00	0.00	0.02	0.00
1990～95年						0.00	0.00	-0.03	0.00
1995～00年			0.00	0.03	-0.09	-0.01	0.00	0.04	0.00
2000～05年			-0.04	0.24	-0.27	0.00	0.00	-0.04	0.00
2005～10年					0.08	-0.05	-0.05	0.03	0.00
2010～15年								-0.03	0.05

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント): 韓国

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	<b>2.17</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年	0.00	0.00	0.00	<b>1.97</b>	0.00	0.02	0.00	<b>2.83</b>	-0.13
1960年	0.00	0.00	0.00	<b>-2.18</b>	0.04	0.09	0.00	<b>6.59</b>	0.03
1965年	0.00	0.00	0.00	-0.51	0.03	0.05	0.00	<b>1.68</b>	-0.04
1970年	0.00	0.00	0.00	0.23	0.02	0.02	0.00	-0.38	-0.07
1975年	0.00	0.00	0.00	0.82	0.00	-0.01	0.00	0.86	-0.04
1980年	0.00	0.00	0.00	-0.06	0.00	-0.01	0.00	0.53	-0.01
1985年	0.00	0.00	0.00	0.30	0.02	0.01	0.00	0.28	0.01
1990年	0.00	0.00	0.00	-0.49	-0.01	0.02	0.00	0.11	0.02
1995年	0.19	0.12	0.00	-0.72	0.03	0.01	0.00	0.25	0.01
2000年			0.00	-0.03	0.22	0.00	0.00	-0.96	0.00
2005年					0.04	0.00	<b>-1.25</b>	-0.09	0.00
2010年					0.64	-0.49	0.02	-0.98	-0.02
2015年								-0.47	-0.43

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人): 韓国

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年	0.00	0.00	0.00	-0.35	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00
1955～60年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1960～65年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00
1965～70年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.06	0.00
1970～75年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.28	0.00
1975～80年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1980～85年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1985～90年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00
1990～95年	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00
1995～00年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00
2000～05年			0.02	-0.02	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00
2005～10年					0.07	-0.06	0.00	-0.06	0.00
2010～15年								-0.02	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年): 韓国

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年						0.00	0.00	0.00	<b>-5.98</b>
1955～60年						0.00	0.00	0.00	<b>1.64</b>
1960～65年						0.01	0.00	-0.03	<b>1.42</b>
1965～70年						0.00	0.00	-0.05	0.51
1970～75年						-0.02	0.00	-0.06	0.00
1975～80年						-0.01	0.00	0.06	0.00
1980～85年						0.00	0.00	-0.02	0.00
1985～90年						0.00	0.00	-0.08	0.00
1990～95年						0.01	0.00	-0.05	0.00
1995～00年			0.00	-0.24	0.53	0.00	0.00	0.01	0.00
2000～05年			0.20	0.41	-0.08	0.01	0.00	-0.20	0.00
2005～10年					0.64	-0.02	0.00	-0.52	0.00
2010～15年								-0.16	0.00

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント): 台湾

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1950年						0.00	0.00	<b>1.87</b>	0.35
1955年						0.00	0.00	<b>2.99</b>	0.34
1960年						0.03	0.00	<b>7.59</b>	-0.65
1965年						0.01	0.00	<b>5.59</b>	<b>3.44</b>
1970年						0.00	0.00	<b>-1.48</b>	0.23
1975年						0.00	0.00	<b>-1.64</b>	0.38
1980年						0.00	0.00	0.09	0.14
1985年						0.00	0.00	-0.03	0.71
1990年						0.00	0.00	0.43	0.82
1995年						0.00	0.00	0.48	0.09
2000年						0.00	0.00	0.15	0.11
2005年						0.00	-0.01	0.35	-0.11
2010年						0.49	0.22	-0.08	-0.38
2015年								0.43	0.21

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人): 台湾

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1950～55年						0.00	0.00	<b>0.82</b>	0.00
1955～60年						0.00	0.00	0.08	0.00
1960～65年						0.00	0.00	0.06	0.06
1965～70年						0.00	0.00	-0.03	0.00
1970～75年						0.00	0.00	-0.05	0.00
1975～80年						0.00	0.00	<b>0.10</b>	0.00
1980～85年						0.00	0.00	0.04	0.00
1985～90年						0.00	0.00	-0.08	0.00
1990～95年						0.00	0.00	-0.03	0.00
1995～00年						0.00	0.00	-0.06	0.00
2000～05年						0.00	0.00	<b>-0.11</b>	0.00
2005～10年							0.00	<b>-0.21</b>	0.00
2010～15年								0.03	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年): 台湾

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版	2019年版
1950～55年						0.00	0.00	-0.03	0.00
1955～60年						0.00	0.00	0.01	0.00
1960～65年						-0.01	0.00	0.00	0.01
1965～70年						-0.01	0.00	0.00	0.00
1970～75年						0.01	0.00	0.01	-0.05
1975～80年						-0.02	0.00	-0.01	0.00
1980～85年						0.00	0.00	-0.01	0.01
1985～90年						0.00	0.00	0.00	0.01
1990～95年						0.01	0.00	0.00	0.03
1995～00年						0.01	0.00	0.00	0.03
2000～05年						0.00	0.00	-0.01	0.03
2005～10年						-0.01	0.00	-0.01	0.02
2010～15年								-0.01	0.01



付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント): 中国

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>1.84</b>	0.16	0.10	-0.90	0.00
1955年	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.51	0.14	-0.27	-0.93	0.41
1960年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.40	0.15	-0.16	<b>-1.04</b>	0.74
1965年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-1.99</b>	<b>2.56</b>	-0.32	-0.59	0.42
1970年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-1.42</b>	<b>2.00</b>	0.37	-0.70	0.12
1975年	0.00	0.00	0.00	-0.01	<b>-1.13</b>	<b>1.70</b>	0.23	-0.82	0.15
1980年	0.00	0.00	0.00	-0.01	<b>1.16</b>	-0.52	0.60	-0.81	0.58
1985年	0.00	0.00	0.14	0.53	<b>1.31</b>	0.55	<b>-1.31</b>	0.07	0.07
1990年	0.00	0.00	-0.21	<b>1.62</b>	0.18	<b>2.60</b>	<b>-2.09</b>	0.53	-0.45
1995年	-0.07	0.00	0.24	<b>2.17</b>	0.16	<b>2.38</b>	<b>-2.43</b>	-0.18	-0.95
2000年			0.32	<b>1.60</b>	-0.05	-0.05	<b>-1.63</b>	-0.38	0.13
2005年					-0.27	<b>-2.47</b>	<b>-1.15</b>	0.01	0.48
2010年						<b>-2.17</b>	<b>-1.52</b>	<b>1.07</b>	0.90
2015年								<b>1.09</b>	0.05

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人): 中国

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950～55年	0.00	0.00	0.00	<b>-0.11</b>	0.00	0.00	0.00	-0.08	0.09
1955～60年	0.00	0.00	0.00	<b>-0.11</b>	0.00	0.00	0.00	-0.08	0.08
1960～65年	0.00	0.00	0.00	<b>-0.11</b>	0.00	<b>0.51</b>	0.04	0.05	-0.05
1965～70年	0.00	0.00	0.00	<b>-0.12</b>	0.00	0.00	<b>0.36</b>	-0.05	0.05
1970～75年	0.00	0.00	0.00	<b>-0.10</b>	0.00	0.00	0.09	-0.08	0.08
1975～80年	0.00	0.00	0.00	<b>-0.39</b>	0.00	0.09	0.00	-0.01	0.01
1980～85年	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.08	<b>-0.17</b>	0.03	-0.03
1985～90年	0.00	0.00	0.00	<b>0.17</b>	0.00	<b>0.24</b>	<b>-0.12</b>	-0.02	0.00
1990～95年	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.04	-0.05	<b>-0.11</b>	-0.06
1995～00年	0.00	-0.02	0.00	0.02	0.00	<b>-0.24</b>	-0.08	0.03	<b>0.11</b>
2000～05年			0.00	0.06	-0.06	<b>-0.15</b>	-0.05	0.05	0.06
2005～10年					<b>-0.13</b>	-0.01	<b>-0.10</b>	0.05	0.04
2010～15年								0.05	0.04

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年): 中国

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950～55年						0.00	<b>-1.19</b>	0.44	0.00
1955～60年						0.00	-0.96	0.43	0.00
1960～65年						0.00	0.16	0.42	0.00
1965～70年						0.00	<b>-4.37</b>	0.42	0.00
1970～75年						0.00	<b>-3.26</b>	0.35	0.00
1975～80年						0.01	<b>-1.09</b>	0.32	0.00
1980～85年						0.04	-0.26	0.30	0.00
1985～90年						0.02	-0.29	0.29	0.00
1990～95年						0.03	-0.57	0.28	-0.30
1995～00年			0.73	0.00	0.41	0.03	-0.27	0.27	-0.29
2000～05年			0.54	0.01	-0.42	<b>1.79</b>	-0.56	0.25	-0.85
2005～10年					-0.26	<b>1.73</b>	0.00	0.24	<b>-1.00</b>
2010～15年								0.24	-0.53

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント):シンガポール

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.05	0.00	0.00	-0.09	0.00
1960年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.02	0.00	-0.07	0.02
1965年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.07	0.01	0.00	-0.17	0.01
1970年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.04	0.00	0.00	-0.06	0.00
1975年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	-0.12	0.00
1980年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.02	0.00
1985年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00
1990年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	-0.01	0.00	0.01	0.00
1995年	-0.11	0.02	0.00	0.09	0.06	0.04	0.00	0.00	<b>-4.23</b>
2000年			0.00	0.04	-0.27	-0.04	0.00	0.00	<b>-6.95</b>
2005年					-0.03	-1.30	0.00	0.01	<b>-5.41</b>
2010年						-0.10	0.00	0.01	<b>-8.81</b>
2015年								-0.07	<b>-9.66</b>

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人):シンガポール

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年	0.00	0.01	0.00	0.00	<b>0.21</b>	0.00	0.00	0.00	0.00
1955～60年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.35</b>	0.00	0.00	0.00	0.00
1960～65年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.19</b>	0.00	0.00	0.00	0.00
1965～70年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.19</b>	0.00	0.00	0.00	0.00
1970～75年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.20</b>	0.00	0.00	0.00	0.00
1975～80年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
1980～85年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.10</b>	<b>0.10</b>	0.00	0.00	0.00
1985～90年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
1990～95年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	<b>-0.10</b>	0.00	0.00	0.00
1995～00年	-0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2000～05年			0.00	0.01	-0.03	0.02	0.00	0.00	0.00
2005～10年					-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
2010～15年								0.00	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年):シンガポール

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年						-0.06	0.00	0.00	0.06
1955～60年						-0.10	0.00	0.00	0.10
1960～65年						0.01	0.00	0.00	0.00
1965～70年						-0.04	0.00	0.00	0.04
1970～75年						-0.03	0.00	0.00	0.03
1975～80年						0.02	0.00	0.00	-0.01
1980～85年						0.72	0.00	0.00	0.01
1985～90年						0.67	0.00	0.00	-0.02
1990～95年						0.18	0.00	0.00	-0.28
1995～00年			0.00	0.00	0.88	-0.36	0.00	0.00	-0.66
2000～05年			0.19	0.00	0.60	-0.17	0.00	0.00	-0.03
2005～10年					0.26	0.63	0.00	0.00	-0.01
2010～15年								-0.30	-0.04

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント):ベトナム

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	-0.01	0.00	0.00	0.00
1955年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>1.64</b>	-0.32	-0.15	0.00	0.00
1960年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>2.00</b>	<b>1.47</b>	-0.31	0.00	0.00
1965年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>2.23</b>	0.48	-0.47	0.00	0.00
1970年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.80	-0.37	0.00	-0.01
1975年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-1.08</b>	-0.23	-0.26	0.00	-0.03
1980年	0.00	0.00	0.00	<b>2.69</b>	<b>-6.26</b>	<b>2.01</b>	-0.16	0.00	-0.04
1985年	0.00	0.08	-0.09	<b>1.14</b>	<b>-3.55</b>	<b>1.05</b>	-0.09	0.00	-0.20
1990年	0.00	0.16	-0.14	0.91	<b>-3.47</b>	0.34	-0.04	0.00	-0.32
1995年	0.00	0.35	0.09	0.81	<b>-2.20</b>	-0.23	-0.07	0.00	-0.30
2000年			0.35	0.30	<b>-3.75</b>	0.81	0.22	0.00	-0.23
2005年					<b>-4.97</b>	<b>1.10</b>	0.11	0.01	-0.21
2010年						0.87	0.39	0.02	-0.23
2015年								0.02	-0.30

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人):ベトナム

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.45</b>	<b>-0.80</b>	0.00	0.00	0.00
1955～60年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.21</b>	<b>-0.60</b>	0.00	0.00	0.00
1960～65年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.08</b>	<b>-0.91</b>	0.00	0.00	0.00
1965～70年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.13</b>	<b>-0.91</b>	0.00	0.00	0.00
1970～75年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.45</b>	<b>-0.82</b>	0.00	0.00	0.00
1975～80年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.39</b>	0.00	0.00	0.00
1980～85年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.44</b>	<b>-0.33</b>	0.00	0.00	0.00
1985～90年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.06	<b>-0.11</b>	0.00	0.00	0.00
1990～95年	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.07	0.00	0.00	0.00	0.00
1995～00年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.32</b>	0.00	0.07	0.00	0.00
2000～05年			0.00	-0.07	<b>-0.32</b>	0.00	-0.01	0.00	0.00
2005～10年					<b>-0.19</b>	0.00	0.04	0.00	0.00
2010～15年								0.00	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年):ベトナム

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年						<b>13.07</b>	-0.01	0.00	0.00
1955～60年						<b>14.35</b>	-0.02	0.00	0.00
1960～65年						<b>15.08</b>	-0.02	0.00	0.00
1965～70年						<b>14.43</b>	-0.02	0.00	-0.01
1970～75年						<b>9.95</b>	-0.02	0.00	-0.01
1975～80年						<b>13.76</b>	-0.02	0.00	-0.02
1980～85年						<b>9.07</b>	-0.02	0.00	-0.02
1985～90年						<b>6.79</b>	-0.02	0.00	-0.01
1990～95年						<b>3.55</b>	-0.23	0.00	0.01
1995～00年			<b>1.89</b>	0.09	-0.02	<b>2.31</b>	-0.39	0.00	-0.14
2000～05年			<b>2.66</b>	0.09	-0.01	<b>1.29</b>	-0.58	0.00	-0.31
2005～10年					0.00	0.77	-0.42	0.00	-0.11
2010～15年								-0.01	-0.60

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント):マレーシア

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.01	0.00	0.63	-0.02
1960年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.86	0.05	0.00	-0.09	0.02
1965年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.94	0.02	0.00	-0.90	0.02
1970年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	-0.01	0.00	<b>-1.83</b>	0.00
1975年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	-0.01	0.00	<b>-1.26</b>	0.00
1980年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-1.25</b>	0.02	0.00	<b>1.55</b>	0.00
1985年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-1.33</b>	0.02	0.00	0.15	0.01
1990年	0.00	0.00	<b>2.44</b>	0.00	<b>-1.04</b>	0.03	0.00	0.04	0.02
1995年	-0.54	0.00	0.56	0.00	<b>-1.23</b>	0.04	0.00	-0.08	0.02
2000年			<b>-1.19</b>	0.00	-0.50	0.04	0.00	0.31	-0.02
2005年					<b>1.99</b>	<b>-4.57</b>	-0.28	0.86	0.02
2010年						<b>-5.90</b>	-0.81	<b>1.57</b>	0.07
2015年								0.97	0.50

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人):マレーシア

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950～55年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.60</b>	0.00	0.00	<b>0.12</b>	0.00
1955～60年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.71</b>	0.00	0.00	<b>0.15</b>	0.00
1960～65年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.49</b>	<b>-0.20</b>	0.00	<b>0.33</b>	0.00
1965～70年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.73</b>	0.00	0.00	<b>0.17</b>	0.00
1970～75年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.59</b>	0.00	0.00	<b>0.15</b>	0.00
1975～80年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.23</b>	0.00	0.00	<b>0.27</b>	0.00
1980～85年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.52</b>	0.00	0.00	<b>0.24</b>	0.00
1985～90年	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>-0.41</b>	0.00	0.00	0.08	0.00
1990～95年	0.00	0.00	<b>-0.15</b>	0.00	-0.05	0.00	0.00	0.02	0.00
1995～00年	0.00	0.00	<b>-0.16</b>	0.00	0.07	0.00	0.00	-0.05	0.00
2000～05年			-0.06	-0.02	<b>0.10</b>	-0.50	0.00	0.00	0.00
2005～10年					<b>0.14</b>	-0.65	0.00	<b>0.14</b>	0.00
2010～15年								<b>0.13</b>	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年):マレーシア

	2000年版 ↓ 2002年版	2002年版 ↓ 2004年版	2004年版 ↓ 2006年版	2006年版 ↓ 2008年版	2008年版 ↓ 2010年版	2010年版 ↓ 2012年版	2012年版 ↓ 2015年版	2015年版 ↓ 2017年版	2017年版 ↓ 2019年版
1950～55年					-0.60	0.00	0.01	0.15	
1955～60年					-0.17	0.00	0.00	0.58	
1960～65年					0.25	0.00	0.00	0.36	
1965～70年					0.45	0.00	0.00	0.11	
1970～75年					0.58	0.00	0.00	0.19	
1975～80年					0.64	0.00	0.00	-0.05	
1980～85年					0.68	0.00	-0.01	0.21	
1985～90年					0.68	0.00	-0.02	0.06	
1990～95年					0.69	0.00	-0.02	0.20	
1995～00年			-0.01	0.00	-0.31	0.69	0.00	-0.03	-0.16
2000～05年			0.01	0.00	-0.50	0.72	-0.01	-0.04	-0.12
2005～10年					-0.86	0.66	-0.21	-0.11	0.31
2010～15年								0.24	0.23

付表. 国連人口推計における年齢従属指数の変化(%ポイント): インドネシア

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955年	0.01	0.00	0.00	0.01	-0.28	-0.50	-0.01	0.00	0.01
1960年	0.01	0.00	0.00	0.01	0.51	-0.23	0.07	0.00	0.13
1965年	0.03	0.03	<b>1.08</b>	0.01	<b>2.29</b>	-0.08	0.04	0.00	0.11
1970年	0.03	0.02	0.91	0.02	<b>3.37</b>	0.20	0.00	0.00	0.00
1975年	0.03	0.00	<b>1.33</b>	0.02	<b>3.07</b>	0.12	-0.01	0.00	-0.01
1980年	0.06	0.00	0.01	0.02	<b>2.42</b>	0.02	0.00	0.00	-0.02
1985年	0.06	0.01	0.20	0.03	<b>2.03</b>	-0.02	0.00	0.00	0.01
1990年	0.17	-0.58	-0.11	0.05	<b>1.66</b>	0.00	0.00	0.00	0.02
1995年	0.27	<b>-1.07</b>	0.14	0.06	<b>1.25</b>	0.05	-0.01	0.00	0.01
2000年			0.33	0.03	0.33	-0.05	0.17	0.00	-0.01
2005年					-0.07	<b>2.29</b>	-0.39	0.31	-0.37
2010年						<b>5.12</b>	<b>-2.36</b>	0.00	-0.06
2015年								0.19	-0.27

付表. 国連人口推計における合計出生率の変化(人): インドネシア

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1955～60年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1960～65年	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1965～70年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1970～75年	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1975～80年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1980～85年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1985～90年	0.00	<b>-0.10</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1990～95年	0.00	<b>-0.10</b>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1995～00年	0.00	<b>-0.10</b>	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2000～05年			0.01	0.00	0.00	0.09	0.00	0.05	0.00
2005～10年					0.00	<b>0.31</b>	0.00	0.00	0.00
2010～15年								-0.05	0.00

付表. 国連人口推計における平均寿命(男女込み)の変化(年): インドネシア

	2000年版	2002年版	2004年版	2006年版	2008年版	2010年版	2012年版	2015年版	2017年版
	↓ 2002年版	↓ 2004年版	↓ 2006年版	↓ 2008年版	↓ 2010年版	↓ 2012年版	↓ 2015年版	↓ 2017年版	↓ 2019年版
1950～55年						-0.59	<b>5.22</b>	0.02	<b>-1.73</b>
1955～60年						-0.37	<b>4.30</b>	0.01	<b>-1.92</b>
1960～65年						-0.13	<b>3.39</b>	0.01	<b>-2.02</b>
1965～70年						0.41	<b>2.48</b>	0.01	<b>-2.03</b>
1970～75年						0.66	<b>1.86</b>	0.01	<b>-1.91</b>
1975～80年						0.88	<b>1.29</b>	0.00	<b>-1.77</b>
1980～85年						<b>1.09</b>	0.74	0.00	<b>-1.45</b>
1985～90年						<b>1.26</b>	0.03	0.00	<b>-1.10</b>
1990～95年						<b>1.42</b>	-0.34	0.00	-0.85
1995～00年			<b>1.16</b>	0.00	<b>-1.18</b>	<b>1.54</b>	-0.63	0.00	-0.63
2000～05年			<b>2.06</b>	0.00	<b>-2.14</b>	<b>1.64</b>	<b>-1.41</b>	0.00	-0.28
2005～10年					<b>-2.79</b>	<b>1.72</b>	<b>-1.91</b>	0.00	0.65
2010～15年								0.00	<b>1.41</b>